

## ～第4学年 富浦移動教室～

4年生は、5月22日より2泊3日で、千葉県の房総半島の南端に位置する富浦へ移動教室に行ってきました。

ほとんどの子どもたちにとって、普段過ごしている家から離れて友達や先生と一緒に宿泊するのは、初めての体験となるのが富浦移動教室です。胸いっぱいの楽しみとともに、不安な気持ちもありました。

でも、やさしく迎えてくれた富浦の自然の中で、子どもたちは元気いっぱいに3日間を過ごしました。そして、富浦の自然のすばらしさを体で感じながら、子どもたち同士が互いに一生懸命努力する姿に気づくこともできました。

今年の4年生の学年目標は「スマイル・ウィズ・ユー」です。仲間がそばにいることで笑顔になれる姿や、仲間の笑顔の為に声をかけたり手を差し伸べたりすることのできる姿を大切にしています。そんな自分や友達の姿に、たくさん出会うことができた2泊3日の移動教室になりました。

### 第1日 5月22日(水) 晴れ

天気予報は3日間とも晴れの予報です。気持ちのよい青空の広がる房総へと、子どもたちはバスに乗り込みました。まずは、車窓から見える東京スカイツリーに子どもたちは大興奮し、大きな歓声が上がります。バスレク委員の子どもたちが企画したレクリエーションで盛り上がり、バス酔いする子も見られず、あっという間に富浦に近づきます。「あっ、海が見えるよ!」最初に気付いた子どもの声が、みんなの目を窓の外に見える青い海に釘付けにします。子どもたちを乗せたバスは、特別な渋滞もなく、予定した時間通りに富浦の町に到着しました。

初めて見る富浦寮に、子どもたちは歓喜の声を上げます。上級生から話を聞いて、それぞれが頭に思い描いていた寮の様子と、目の前にある富浦寮の佇まいの違いに、子どもたちは次々に感想を口にして興奮気味です。

寮での最初の食事は、子どもたちの大好きなカレーライスです。いつも以上にたくさん食べた後、富浦ウォッチングへ出発です。グループごとに計画した道を通って、富浦の町を探検します。社会科で学

習した土地利用の様子や地形の様子を自分の目で確かめながら、ウォッチングのリーダーを先頭に歩いていきます。途中、海岸で貝殻を拾ったり干物工場をのぞいたりもして、子どもたちはいつの間にか、富浦の町の空気に慣れていきました。

例年、ホームシックになってしまい、涙を流して眠れぬ夜を過ごす子が一人はいるのが富浦移動教室。ところが、仲間と一緒に楽しい時間を1日目から満喫したせいなのか、この夜、寝床についた子どもたちは、明日への期待を胸に笑顔のまま眠ってしまいました。



### 第2日 5月23日(木) 晴れ

今日も快晴!夏のような日差しの中、2日目の午前中は磯採集です。岸から少し離れた雀島まで歩いていけるほどの大潮で、海の水がかなり引いて磯採集には絶好のコンディションです。潮溜まりには磯の生き物がたくさんいて、あちこちで子どもたちの歓声が上がります。ヤドカリ、カニはもちろん、アメフラ



シ、ウミウシ、ハゼ、バフンウニ、さらにはたくさんのムラサキウニが子どもたちを待っていました。磯採集をガイドしてくださった現地の方も、「今日は、海の生き物にとって受難の日ですね。みなさん、思いっきり磯採集を楽しんでください。」と話されるほどの条件に恵まれた磯採集になりました。

午後は、富浦をフィールドに、現地ならではの素材をグループごとに追究するフリータイム学習です。この日まで、学校の菊の子の時間に自分で見つけた課題を追究してきましたが、今日は本物の場所と本物の技に出会う時間です。次の九つのグループに分かれて活動しました。



### ～フリータイム学習の紹介～

- 魚グループ…堤防で海釣りに挑戦。今年は、なんと20匹ものマアジが釣れました。
- 鳥・植物グループ…浜辺にしか生息しない植物と雀島で繁殖するクロサギを観察しました。
- びわグループ…びわのシロップ漬け作りに挑戦。なにより、びわをいっぱい食べました。
- 歴史・民話グループ…岡本城跡で室町時代ヘタイムスリップ。さすが池の怖い伝説に鳥肌です。
- おはやしグループ…「キントコドッコイ」と威勢のよいかげ声で、おはやしの演奏体験をしました。
- カーネーショングループ…花の色づけや、フラワーアレンジメントに挑戦することができました。
- 干物グループ…職人の包丁さばきに感動の拍手。子どもたちも10秒でさばくことに挑戦。
- うちわグループ…特徴ある房州うちわ作りを体験。たくさんのおみやげもいただきました。



現地での体験を「分かった」「楽しかった」で終わるのではなく、ここでの体験をきっかけに今後のフリータイム学習を深めていきます。

夜は和楽会です。今年は「生活班対抗！合唱コンクール」を行いました。各生活班が選んだ歌は、「キセキ」「夢をかなえてドラえもん」、そして去年や3年前のオペレッタの歌でした。審査員は、副校長先生をはじめとする付添いの先生方です。歌声の美しさとチームワークの観点から審査をし

ていただきました。会場の雰囲気は、合唱コンクールというよりむしろ歌合戦。予想以上の盛り上がりでしたが、生活班ごとに一つにまとまろうとする姿や、会の進行に協力しようとする姿が見られ、子どもたちの集団としての成長を感じることできた時間となりました。



### 第3日 5月24日(金) 晴れ

2泊3日お世話になった富浦寮に「来年また来るよ！」と別れを告げて、大房岬へと向かいます。こ



この日も、夏を思わせる太陽が照りつけます。自然がいっぱいの大房岬で、大房ハイイク委員の子どもたちが企画したスタンプラリーを行いました。大房岬からの景色は、海の青さと鮮やかな若葉の色に思わず深呼吸をしたくなるほどの素晴らしさです。スタッフとして活躍する委員の子どもたちも、3日間一緒に過ごした班の仲間と共にスタンプを集めてまわる子どもたちも、富浦で過ごす最後の時間を仲間と一緒に味わいました。

帰りのバスに乗り込む時に、「もう少し富浦に居たかったなあ。」「まだ帰りたくない！」と子どもたちが口にしたのは、きっと仲間と共に過ごすことの素晴らしさを十分に味わったからでしょう。これから、子どもたちは、富浦で過ごした3日間を振り返ります。富浦での楽しい思い出とともに、仲間と協力して生活をした自分や友達の姿に気付いていってほしいと願っています。